

－ 課題の整理について －

< 1. はじめに >

各務原特別支援学校の跡地等の活用方針を検討するに当たっては、

- ①市民アンケートにより、市民が特に重要と考える分野として教育分野が挙げられていること
- ②引き続き学校施設として活用した場合、改修費用を抑制できること
- ③都市計画法の用途制限により、立地できる建物の制限があること
- ④上記の用途制限により、体育館は単独では立地できず、学校施設に付随する体育館である必要があること
- ⑤特別支援学校として長年にわたり特別支援教育の場であったことを踏まえ、教育分野（未就学児への教育としての子ども福祉分野を含む）、障がい児者福祉分野を前提に検討することとしている。

< 2. 課題の整理 >

教育分野（未就学児への教育としての子ども福祉分野を含む）、障がい児者福祉分野における、主な課題・取組みの状況を再掲する。（第1回検討委員会 資料4 10ページに記載）

表1 分野ごとの主な課題と取組みの状況

分野	主な課題	現在の取組み
学 校 教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒、通級指導教室に通う児童生徒の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒一人ひとりに対するきめ細やかな支援 （教育センターすてっぷ、あすなる教室、さくら（なか・まえみや）等）
青 少 年 教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の社会活動への参加意識醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年育成市民会議 ・ ふれコミ隊活動
芸 術 ・ 文 化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術・文化に親しむ機会の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ かかみがはら未来文化財団の設立
障がい児者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の重度化・高齢化及び知的・精神障がい者の増加、障がい児の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児者の自立支援促進事業、社会参加促進事業

<p>子 ども 福 祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子育てに不安や孤立を覚える人の増加 • 保育ニーズの高まりに伴う保育所等への入所者数の増加 • 子育てに関する相談件数の増加と内容の多様化、複雑化 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域ぐるみの子育て支援体制の強化 • 子育て支援事業 (赤ちゃん訪問、親子サロン 等) • 子育て支援施設の運営
-----------------	---	--

表1で示した各分野について、庁内関係部署において、ハード面を含め、改めて課題の整理を行った。その結果は表2のとおりである。